



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社 メディカルシステムネットワーク
 コード番号 4350 URL <http://www.msnw.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 田尻 稲雄
 (氏名) 平島 英治

TEL 011-612-1069

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	47,782	18.1	2,016	36.6	1,992	44.5	822	41.4
25年3月期第3四半期	40,451	—	1,476	—	1,379	—	581	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 903百万円 (30.7%) 25年3月期第3四半期 690百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	34.04	—
25年3月期第3四半期	22.39	—

(注) 1. 平成24年3月期は決算期の変更により6か月間の変則決算となっております。このため、平成25年3月期における対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(注) 2. 1株当たり四半期純利益の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	45,530	5,562	11.6	221.26
25年3月期	30,789	6,236	18.8	222.86

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 5,285百万円 25年3月期 5,787百万円

(注) 自己資本、自己資本比率及び1株当たり純資産の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
26年3月期	—	4.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,164	15.2	2,432	18.8	2,300	20.3	826	9.2	34.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

株式会社トータル・メディカルサービス、
新規 3社 (社名) 株式会社さくらフーズ、株式会社ケイエム、除外 1社 (社名) 株式会社エムエムネット

(注)詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	25,969,600 株	25年3月期	25,969,600 株
26年3月期3Q	2,081,105 株	25年3月期	1,105 株
26年3月期3Q	24,168,349 株	25年3月期3Q	25,968,515 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については【添付資料】P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 連結貸借対照表には、株式給付信託が所有する当社株式が「自己株式」として計上されています。一方、1株当たり四半期純利益、自己資本比率、1株当たり純資産及び自己資本については、上記の当社株式を自己株式とみなしていません。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績は、主力事業である医薬品等ネットワーク事業及び調剤薬局事業が堅調に推移したことから、売上高は47,782百万円（前年同四半期比18.1%増）となりました。利益面につきましては、調剤薬局事業において処方箋応需枚数・処方箋単価が順調に推移したこと及び株式給付信託（J-ESOP）の導入コストがなくなったこと等により経費が抑制されたことから、営業利益2,016百万円（同36.6%増）、経常利益1,992百万円（同44.5%増）、四半期純利益822百万円（同41.4%増）となりました。

当第3四半期連結会計期間において、当社連結子会社である株式会社ファーマホールディングは、株式会社トータル・メディカルサービスの普通株式を公開買付けにより取得いたしました。この結果、平成25年11月26日付で株式会社トータル・メディカルサービス及び同社の完全子会社である株式会社さくらフーズ、株式会社ケイエムは当社連結子会社となりました。これにより、調剤薬局事業において当社グループ薬局の拠点数が少なく、重点強化地域としていた九州エリアでのドミナント形成が大きく進展いたしました。また、株式会社さくらフーズ及び株式会社ケイエムが運営する病院・福祉施設内での給食事業の受託業務を、「給食事業」として新たに報告セグメントの区分に追加することといたしました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

①医薬品等ネットワーク事業

本事業に関しましては、中小薬局の新規加盟件数が順調に伸びたことに伴い受発注手数料収入が増加したこと等により、売上高は2,148百万円（前年同四半期比9.9%増）、営業利益1,102百万円（同20.4%増）となりました。

なお、平成25年12月31日現在の医薬品ネットワーク加盟件数は、調剤薬局1,124店舗、27病・医院の合計1,151件（前連結会計年度末比118件増）となりました。

②調剤薬局事業

本事業に関しましては、新規出店及びM&Aにより店舗展開を行う一方、当第3四半期連結累計期間においてグループ会社の吸収合併（5社）を行うことにより、間接部門をスリム化することで、収益基盤の強化を図りました。

出退店状況に関しましては、当第3四半期連結累計期間に調剤薬局13店舗を新規出店するとともに株式取得により5社（44店舗）、事業譲受けにより1店舗を取得する一方、3店舗を閉鎖しました。これにより、平成25年12月31日現在の店舗数は、調剤薬局324店舗（休止中の1店舗を除く）、ケアプランセンター1ヶ所、ドラッグストア12店舗となりました。

既存店舗の売上が堅調に推移したことに加え、新規出店及び前連結会計年度にM&Aにより取得した店舗の業績寄与等により、売上高は45,742百万円（前年同四半期比17.9%増）となりました。利益面につきましては、処方箋応需枚数・処方箋単価が順調に推移したこと及び株式給付信託（J-ESOP）の導入コストがなくなったこと等により経費が抑制されたことから、営業

利益1,830百万円（同47.2%増）となりました。

③賃貸・設備関連事業

本事業に関しましては、不動産賃貸収入が増加したことにより、売上高は952百万円（前年同四半期比16.2%増）となったものの、医療と介護の複合型施設として平成25年5月に開業したサービス付き高齢者向け住宅「ウイステリア清田」（札幌市清田区）に関する減価償却費等の費用が先行するため営業損失30百万円（前年同四半期は営業利益90百万円）となりました。

なお、「ウイステリア清田」の入居件数は、平成25年12月31日現在、全75戸中44戸と概ね順調に推移しております。

④給食事業

本事業に関しましては、株式会社さくらフーズ及び株式会社ケイエムにおいて病院・福祉施設内での給食事業受託業務を行っております。本事業の売上高は154百万円、営業損失0百万円となりました。

⑤その他事業

本事業に関しましては、株式会社エスエムオーメディスが治験施設支援業務、株式会社ケイエムが医薬品卸事業を行っております。本事業の売上高は272百万円（前年同四半期比43.2%増）、営業利益12百万円（同63.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は45,530百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,741百万円増加しました。

流動資産は13,476百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,205百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金並びに売掛金の増加によるものです。固定資産は32,053百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,535百万円の増加となりました。主な要因は、賃貸・設備関連事業における建物及び構築物、土地の増加並びに5社の株式取得、1店舗の事業譲受けによりのれんが増加したことによるものです。

負債の部は39,968百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,415百万円の増加となりました。流動負債は26,626百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,250百万円の増加となりました。主な要因は、買掛金並びに借入金の増加によるものです。固定負債は13,342百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,164百万円の増加となりました。主な要因は、長期借入金の増加によるものです。

また、純資産の部においては、5,562百万円となり、前連結会計年度末に比べ673百万円の減少となりました。主な要因は自己株式取得等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月1日に発表した連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において当社の連結子会社であった株式会社エムエムネットは平成25年7月1日に当社を存続会社とし、株式会社エムエムネットを消滅会社とする吸収合併を行ったことにより、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

また、当第3四半期連結会計期間において、当社連結子会社である株式会社ファーマホールディングが平成25年11月26日付で株式公開買付けにより株式会社トータル・メディカルサービスの株式98.96%を取得したことに伴い、同社及び同社の完全子会社である株式会社さくらフーズ、株式会社ケイエムを新たに連結の範囲に含めております。なお、株式会社トータル・メディカルサービス、株式会社さくらフーズ及び株式会社ケイエムは特定子会社に該当いたします。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,091,869	4,075,567
売掛金	1,513,728	3,900,695
債権売却未収入金	725,355	617,449
調剤報酬等購入債権	499,150	300,769
商品	2,150,186	3,156,840
原材料	—	9,655
仕掛品	15,809	9,868
貯蔵品	53,167	61,135
繰延税金資産	614,145	483,399
その他	613,845	867,616
貸倒引当金	△6,097	△6,121
流動資産合計	8,271,162	13,476,876
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,332,867	6,534,487
土地	4,936,062	6,704,140
建設仮勘定	444,735	434,795
その他(純額)	1,757,936	2,141,980
有形固定資産合計	11,471,601	15,815,404
無形固定資産		
のれん	8,176,760	12,454,867
ソフトウェア	35,565	82,235
その他	51,052	63,267
無形固定資産合計	8,263,378	12,600,371
投資その他の資産		
投資有価証券	54,060	184,312
差入保証金	1,640,040	1,667,079
繰延税金資産	797,466	715,167
その他	333,089	1,098,470
貸倒引当金	△41,522	△26,851
投資その他の資産合計	2,783,134	3,638,178
固定資産合計	22,518,114	32,053,954
資産合計	30,789,276	45,530,830

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,615,995	8,268,004
短期借入金	3,015,000	11,840,000
1年内返済予定の長期借入金	1,543,066	2,032,890
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
未払法人税等	459,443	308,426
繰延税金負債	10	31
賞与引当金	702,153	437,685
ポイント引当金	9,359	7,958
その他	2,980,215	3,681,010
流動負債合計	14,375,244	26,626,007
固定負債		
社債	75,000	25,000
長期借入金	7,510,908	10,238,413
繰延税金負債	1,298	1,343
退職給付引当金	768,344	942,940
役員退職慰労引当金	349,448	467,757
その他	1,472,995	1,667,243
固定負債合計	10,177,994	13,342,699
負債合計	24,553,238	39,968,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,091,001	1,091,001
資本剰余金	900,747	900,717
利益剰余金	3,835,561	4,453,729
自己株式	△45,048	△1,180,893
株主資本合計	5,782,262	5,264,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,613	6,697
繰延ヘッジ損益	△42,318	△34,813
その他の包括利益累計額合計	△39,705	△28,115
少数株主持分	493,480	325,683
純資産合計	6,236,038	5,562,123
負債純資産合計	30,789,276	45,530,830

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	40,451,051	47,782,650
売上原価	26,128,517	30,979,224
売上総利益	14,322,533	16,803,426
販売費及び一般管理費	12,846,425	14,786,593
営業利益	1,476,108	2,016,832
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,451	2,764
業務受託料	53,060	45,389
設備賃貸料	29,145	32,944
補助金収入	1,781	89,522
雑収入	28,788	35,817
営業外収益合計	115,227	206,438
営業外費用		
支払利息	197,317	212,823
雑損失	14,970	17,569
営業外費用合計	212,288	230,392
経常利益	1,379,048	1,992,878
特別利益		
固定資産売却益	1,361	6,593
投資有価証券売却益	—	3,875
受取補償金	16,368	20,602
資産除去債務戻入益	—	7,874
特別利益合計	17,729	38,946
特別損失		
固定資産除却損	7,898	27,236
減損損失	—	66,747
店舗閉鎖損失	2,640	2,969
その他	264	418
特別損失合計	10,802	97,371
税金等調整前四半期純利益	1,385,975	1,934,452
法人税、住民税及び事業税	551,931	680,204
法人税等調整額	147,505	362,848
法人税等合計	699,437	1,043,052
少数株主損益調整前四半期純利益	686,538	891,400
少数株主利益	104,979	68,817
四半期純利益	581,558	822,582

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	686,538	891,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,332	4,148
繰延ヘッジ損益	2,041	7,505
その他の包括利益合計	4,374	11,654
四半期包括利益	690,912	903,054
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	585,963	834,172
少数株主に係る四半期包括利益	104,949	68,881

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年5月2日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得等により、自己株式は当第3四半期連結累計期間において、1,135,844千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、1,180,893千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医薬品等 ネットワーク 事業	調剤薬局 事業	賃貸・設備 関連事業	給食 事業	その他 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	913,143	38,801,174	546,414	—	190,318	40,451,051	—	40,451,051
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,041,195	3,354	273,029	—	—	1,317,579	△1,317,579	—
計	1,954,339	38,804,528	819,443	—	190,318	41,768,630	△1,317,579	40,451,051
セグメント利益	915,812	1,243,696	90,882	—	7,425	2,257,817	△781,708	1,476,108

(注)1. セグメント利益の調整額△781,708千円には、セグメント間取引消去△55,302千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△726,405千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、調剤薬局事業会社5社の全株式を取得し、連結子会社としたこと等により、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては3,518,180千円です。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品等 ネットワー ク事業	調剤薬局 事業	賃貸・設備 関連事業	給食 事業	その他 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	982,043	45,739,664	634,720	154,638	271,584	47,782,650	—	47,782,650
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,166,450	3,157	317,643	—	1,036	1,488,288	△1,488,288	—
計	2,148,494	45,742,822	952,363	154,638	272,620	49,270,939	△1,488,288	47,782,650
セグメント利益又は損失(△)	1,102,415	1,830,350	△30,877	△514	12,174	2,913,547	△896,714	2,016,832

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△896,714千円には、セグメント間取引消去△22,124千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△874,590千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期連結累計期間において、調剤薬局事業会社5社の株式を取得し、連結子会社としたこと等により、前連結会計年度の末日に比べ、「調剤薬局事業」のセグメント資産が10,825,658千円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

株式会社トータル・メディカルサービスの普通株式を公開買付けで取得し、同社及び同社の完全子会社である株式会社さくらフーズ及び株式会社ケイエムを連結子会社化したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より「給食事業」を報告セグメントに追加しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の区分方法により作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「医薬品等ネットワーク事業」セグメントにおいて、株式会社エムエムネットの全株式を取得したことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては247,788千円であります。

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、調剤薬局事業会社5社の株式を取得し、連結子会社としたこと等により、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては4,496,338千円であります。

(企業結合等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 株式会社トータル・メディカルサービス

事業の内容 調剤薬局事業及びメディカルサポート事業

② 企業結合を行った主な理由

重点強化地域としている九州での店舗拡充及びブランド力向上に資し、人財確保等一層の経営基盤拡充の効果が見込まれるため。

③ 企業結合日

平成25年11月26日

④ 企業結合の法的形式

株式取得

⑤ 結合後企業の名称

株式会社トータル・メディカルサービス

⑥ 取得した議決権比率

98.96%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

連結子会社である株式会社ファーマホールディングによる現金を対価とする株式取得であること。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成25年12月1日から平成25年12月31日まで

(3) 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価 4,704,806千円

取得に直接要した費用 398,743千円

取得原価 5,103,549千円

(注) 全て現金で支出しております。

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん金額

3,831,056千円

② 発生原因

企業結合時の時価純資産が取得原価を下回ったため、その差額をのれんとして認識しております。

③ 償却方法及び償却期間

20年間で均等償却